

坪内士行氏譯(四六九約八百頁、クローヌ美本)

### モリエール全集

悲劇作家の大權威たる沙翁と共に喜劇作家の泰斗として、古今東西に絶倫するものは、實にモリエール也。其の作品は滑稽諷刺の妙機智笑諷の巧を極むる裡に、人心の秘密を發き、性格の表裡を描きて、技神に迫る。本集は傑作全部を網羅したるものにして、劇壇の新人、坪内士行氏、全力を擧げて、忠實に翻譯したるもの、我が文壇又一の珍寶を加へたりといふべし。

ストリンドベスルヒ原著(中判箱入美本、定價壹圓八拾錢、送料拾五錢)

### 下女の子

本書は異常なる大天才ストリンドベスルヒの自叙傳小説にして、又實に渠が世界的大文豪の盛名を獲得したる出世作也。全篇悉く紅血の滲む如き鋭き實感と自己及其の周圍に對する驚くべき深き觀察との結晶也。譯文慎重一字一句も苟くもせず。原文の妙を傳へて餘蘊なし。

市川又彦氏 河竹繁俊氏 中村吉藏氏 仲木貞一氏 藤井眞澄氏 秋田雨齋氏 楠山正雄氏 島村民藏氏 坪内士行氏 河野義博氏 横山有策氏 共譯

### ゴオルス ワーソー 社會劇全集

メスの如き銳利と抉るが如き深刻とを極めたるゴオルスワーソーの社會劇は現世界劇壇に對し最新最高の標準を示せるのみならず新劇の機運勃興せる、我が國の社會劇に對しても最も有力なる模範を提供して餘りあるものなり。苟くも當來の社會を内觀し、新思想、新文藝の潮流を味識せんとする人は、速かに此全集を熟讀せられよ。

◎上卷(中判細活字印刷六五〇頁箱入)定價參圓四拾錢、送料拾七錢

◎下卷(中判細活字印刷八百餘頁箱入)定價參圓八拾錢、送料拾八錢

目次 鳩長 走者 徒男 王愛 漢然 藝術 諸

ベルアエー

## 創 作 小 說 書 類

佐藤春夫氏著

谷崎潤一郎氏著

<p style="text-align: center;"><b>病</b></p> <p style="text-align: center;">薇蓄美 町</p> <p style="text-align: center;">(版 再)</p> <p style="text-align: center;">銀拾五圓壹價定 錢貳拾料送</p>	<p style="text-align: center;"><b>天鵲絨の夢</b></p> <p style="text-align: center;">(版 再)</p> <p style="text-align: center;">銀拾六圓壹價定 錢七拾料送</p>	<p style="text-align: center;"><b>恐怖時代</b></p> <p style="text-align: center;">(四 版)</p> <p style="text-align: center;">圓貳個定 錢五拾料送</p>	<p style="text-align: center;"><b>小さな王国</b></p> <p style="text-align: center;">(版 四)</p> <p style="text-align: center;">拾六圓壹價定 錢五拾料送</p>
--	---	---	--

# モウパッサン全集

モウパッサンは自然主義小説家の泰斗なり。彼の描ける人生は赤裸々にして生命本然の儘なり。其の技巧に至つては天才の技倆實に驚嘆に餘りあり。彼の作物全部は殆んど大膽なる性慾描寫なり。雖も明確清澄の主観と嚴止無飾の描寫は却つて人の襟を正ふせしむるものあり。自然主義、寫實主義の極致を解し、フランス藝術の粹な味は人とするの人は速かに本全集に來れ。

廣津和郎氏譯 第一篇

### 美貌の友

(發賣禁止に付絶  
版目下改訂中)

前田晁氏譯 第二篇

### 生の誘惑

外十五篇

四六判クローリス本  
紙數五〇四細活字  
定價貳圓九拾錢  
送料拾七錢

或る特異の社會に置かれたる醜麗無比の處女が幾多の情波に掀騰せられ、遂に「生の誘惑」に身を委ねるに至る心理状態を、藝術的に描寫せるモウパッサン作品中有數の傑作にして、其の他の短篇十五篇は愛慾に對し、或は現物慾に對し、或は又恐ろしき人間性の本質に對し、作者の鋭き洞察と徹底せる批判と温かき情熱を顯る鮮やかに表したる渾然玉の如き作品なり。

矢口達氏譯 第三篇

### 戀の力

四六判クローリス本  
紙數二六四細活字  
定價貳圓六拾錢  
送料拾七錢

中年の畫家が伯爵夫人と戀に陥り、年の重なるに従つて苦悶を感じつつも、尙ほ且つ青春の如き血を湧かす不屈の性態を寫し、更に夫人の容色衰ふるに及んで其の命運を戀ふるに至る経路と、夫人が隠せ行く容色を自覺して煩悶し、情人の愛を繋ぐ事に焦慮する性的生活を描きたる五大長篇中の傑作也。

1914

版四 宮島新三郎氏  
第外二四 氏 篇譯

# 狂へる戀

四六判クロース本  
紙數四五四細活字  
定價貳圓八拾錢  
送料拾七錢

本卷は主としてモウパッサンの中篇程度のものを集めたるものにして何れも微妙なる心理を深刻に解剖し、人間の奥底深く潜める愛慾を描破して戦慄を感ぜしむ。狂へる戀、アルマ、ルイズ、ロール等は最も深刻を極めたるもの、其の他の諸篇も悉く一大驚異たらざるはなし。速に一本を手にとせられよ。

版三 吉江孤雁氏  
第外三五 氏 篇譯

# 水虐げらるゝ女上

四六判クロース本  
紙數三七二細活字  
定價貳圓七拾錢  
送料拾七錢

性慾は避け難き大自然力なり。之あるが爲めに人生は如何に悲哀と寂寞とを招くか、此事實に衝き當りたるモウパッサンに現實の世に失望せり。渠が日常生活に對する嫌惡の情を遺憾なく披瀝せるは此有名なる長篇旅行記「水の上」也。虐げらるゝ女は原著「脂肪の塊」と題せる彼が出世作にして、油きつたる服満女の行爲を描きて人生の機微を穿ちたるもの、渠が大文豪たる今日の盛名を瀟々得たるは實に本篇を出したるに始まる。其の大傑作たる言を俟たざるなり。

版三 矢口達氏  
第外六二 名 篇譯

# 戀の謝肉祭 外二十八篇

四六判クロース本  
紙數四八四細活字  
定價貳圓八拾錢  
送料拾七錢

「戀の謝肉祭」は小間使が公爵夫人の假裝に匿れて性的戀愛の遊戯に溺れることを描き「窓」は肉慾的文学の極致を發揮したるもの、老嫗のおもひはミイラの如き老嫗が一青年畫家に想を寄せて抵抗し難き性的壓迫に苦悶する状態を書きたるものにて其他の各篇何れも偉大なる獨創力を證するに足る名篇のみなり。

◎第七篇以下逐次刊行◎

500  
29

終